

製品名: リン酸化 PKC デルタ (Y311) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84366

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 78 kDa ; Observed MW: 77 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-PKC delta(Y311) CVID9; Kinase PKC delta; KPCD; MAY1; nPKC delta; PCKd; PKC delta; PKCD; PKCdelta; PRKC
別名	delta; Prkcd; Protein Kinase C delta; Protein kinase C delta VIII; Protein Kinase Cdelta; Tyrosine protein kinase PRKCD;;p-PKC delta (Y313)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q05655
免疫原	Y313 のリン酸化部位周辺のヒト PKC デルタ由来の合成ペプチド

背景

カルシウム非依存性、リン脂質およびジアシルグリセロール (DAG) 依存性のセリン/スレオニンタンパク質キナーゼ。DNA 損傷誘導性アポトーシス時にはプロアポトーシスタンパク質として機能することにより細胞死と細胞生存において対照的な役割を果たし、サイトカイン受容体誘導性細胞死時には抗アポトーシスタンパク質として作用し、腫瘍抑制およびいくつかの癌の生存に関与し、NADPH オキシダーゼによる酸素ラジカル生成に必要であり、血小板機能応答における正または負の調節因子として機能します。

研究分野

-

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

